

## 大分市医師会立アルメイダ病院総合診療科を受診された患者さん・御家族の方々へ

大分市医師会立アルメイダ病院総合診療科では医療・介護関連肺炎で入院した患者さんの情報を元に解析を行う大分大学の研究に協力しています。本研究への情報の使用を拒否される場合はお申し出ください。

**【研究課題名】** プライマリ・ケアにおける医療・介護関連肺炎(NHCAP)に対する<sup>キューソフア</sup>qSOFA、<sup>エードロップ</sup>A-DROP、血液培養の意義

### 【研究の対象】

2016年4月から2021年3月に当院総合診療科に入院された患者さん

### 【研究の目的・方法について】

「成人肺炎診療ガイドライン 2017」では医療・介護関連肺炎(NHCAP)の重症度はいくつかの指標で評価されます。また、NHCAPの患者さんに対し血液培養検査を推奨しています。しかしながら身近な医療におけるNHCAPに対する重症度の指標の有用性、血液培養の意義については十分には解明されていません。そこで本研究では2016年4月から2021年3月に当院総合診療科に入院された患者さんについて身近な医療におけるNHCAPの院内死亡と重症度の指標の関係性、ならびに血液培養の結果について検討を行います。

### 【研究期間】

2020年7月20日～2024年3月31日

### 【研究方法】

2016年4月から2021年3月に大分市医師会立アルメイダ病院総合診療科に医療・介護関連肺炎で入院した65歳以上の患者さんのデータを利用します。具体的にはカルテより年齢、性別、入院日、重症度、血液培養結果、退院日、アウトカムをデータとして使用し解析を行います。

### 【使用させていただく情報について】

お名前などの個人情報は削除され、匿名化が施されたうえで大分大学へ提供されますので、個人の情報は厳密に守られます。この研究の結果はきちんと記録し、学会や医学雑誌に発表されることがあります。しかしいずれの場合にもあなたのプライバシーに関するすべての秘密を保持することを保証します。

### 【患者さんの費用負担等について】

費用については大分大学医学部総合診療・総合内科学講座の基盤研究費にて賄い、患者さん個人への追加費用は発生しません。

### 【利益相反について】

この研究は、上記の公的な資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切使いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

**【研究の参加等について】**

原則的に当科を受診される患者さんにおいてはデータを収集し評価させていただきますが、もしご協力いただけないようであればその旨遠慮なくお知らせください。同意されなくても、当院では同じように最善の医療を提供いたします。何かご質問があれば、当院の担当者に申し出てください。

**【研究組織】**

研究責任者 地域医療学センター 講師 塩田 星児  
研究分担者 総合診療・総合内科学講座 教授 宮崎 英士

**【既存試料・情報の提供のみを行う機関】**

大分市医師会立アルメイダ病院総合診療科 高倉 健

なにとぞご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

問い合わせおよび研究にご協力いただけない場合の連絡先

連絡先 大分大学医学部総合診療・総合内科学講座  
研究責任者 塩田星児(しおた せいじ)  
(電話) 097-586-5106